

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
行集人 中原 泉
発行日 偶数月末日
編集室 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500

接着歯科学講座を開設

講座主任に奈良陽一郎教授

本学生命歯学部では、四月一日、接着歯科学講座を開設した。講座主任は、100周年記念館6階。

東京衛生 ヒト歯髄から肝細胞

口臭成分より作製、再生医療へ新しい一歩



歯の組織から肝臓や心筋

日本歯科大・八重垣教授ら研究チーム

再生医療で臨床応用期待

新潟市で歯科病院を開業している八重垣健一、日本歯科大八重垣健一らの研究チームが、歯の組織から肝臓や心筋とさまざまな組織を作る再生医療の研究を進めている。作製した肝細胞をマウスに移植する動物実験を成功させ、肝臓や心筋も作り出した。八重垣教授は月に横濱市で開かれる国際学会で研究成果を発表予定。今後の臨床への応用期待している。

口臭の主成分である硫化水素を用い、歯髄組織から肝細胞を効率よく作ることに、八重垣教授らの研究チームが成功した。この再生医療への新しい試みは、二月にイギリスの学会誌に掲載され、世界的な反響を呼んでいる。

生命歯学部衛生学講座(八重垣健教授)では、口臭物質の歯周病原性や発癌性、ヒト歯髄幹細胞から各種臓器の再生などをテーマに研究を進めている。口臭の毒性や他の疾病に与える影響を調べる過程で、歯髄には多様な組織に分化する能力を有する幹細胞が高い割合で含まれることを発見した。

歯髄から、他の細胞に変化できる幹細胞を取り出し、口臭の主成分である微量の硫化水素を加えて作る多能性幹細胞(iPS細胞)が注目されているが、八重垣教授は、「ライフワークの口臭研究が今回の成果に結びついた」と語り、「歯髄は安全性が高いと指摘している。

新聞社のインタビューに対し八重垣教授は、「ライフワークの口臭研究が今回の成果に結びついた」と語り、「歯髄は安全性が高いと指摘している。



受賞をした住友教授

住友生命歯学部部長 ホーレス・ウエルズ賞受賞

生命歯学部歯科麻酔学講座の住友雅人教授(生命歯学部部長)は、二月二十九日、三月二日にアメリカ・ハワイ州のコハラコーストで開催された第十三回国際歯科麻酔学会議(International Federation of Anesthesiologists Society)において、ホーレス・ウエルズ賞を受賞した。

同賞は、亜酸化窒素(笑気ガス)により初めて無痛拔牙に成功した「麻酔法の父」ウエルズ(Worrell)を記念して制定された。国際歯科麻酔学会議(International Federation of Anesthesiologists Society)は一九七六年発足、世界各地で三年に一度開催される、ウエルズ賞は同会議最高の賞で、日本人受賞者としては四番目となる。

歯の組織から肝臓や心筋

日本歯科大・八重垣教授ら研究チーム

再生医療で臨床応用期待

新潟市で歯科病院を開業している八重垣健一、日本歯科大八重垣健一らの研究チームが、歯の組織から肝臓や心筋とさまざまな組織を作る再生医療の研究を進めている。作製した肝細胞をマウスに移植する動物実験を成功させ、肝臓や心筋も作り出した。八重垣教授は月に横濱市で開かれる国際学会で研究成果を発表予定。今後の臨床への応用期待している。

告知後の質問集

サイトで公開
医師面談の参考に

国立がんセンター
入して作る多能性幹細胞(iPS細胞)が注目されているが、八重垣教授は、「ライフワークの口臭研究が今回の成果に結びついた」と語り、「歯髄は安全性が高いと指摘している。

八重垣教授ら研究チームの成功を報じる『新潟日報』

★東京→新潟★新潟→東京★

両学部で交換実習おこなう

附属病院 大澤 銀子
新潟病院 廣澤 利明

この交換実習は、生命歯学部と新潟生命歯学部との間で実施することになった。

東京の附属病院では、口腔介護リハビリテーションセンターにおいて、外来での嚥下造影検査や構音機能訓練、さらには、施設に赴いて咳テストなどを見学した。

顎変形症センターでは、手術室に入室して下顎矢状分割術の手術を見学し、放射線検査室では、歯科用コンピュータに触れる機会を得た。

そのほか総合診療科や心療歯科センターで診療補助

東京・新潟の両学部の五学年の臨床実習生(登院生)交換実習が、三月に行われた。これは平成二十二年十一月に開催の第一〇〇回ワークショップを契機に企画され、平成二十三年度の五年生を対象に実施することになった。

この交換実習は、生命歯学部と新潟生命歯学部との間で実施することになった。

東京の附属病院では、口腔介護リハビリテーションセンターにおいて、外来での嚥下造影検査や構音機能訓練、さらには、施設に赴いて咳テストなどを見学した。

顎変形症センターでは、手術室に入室して下顎矢状分割術の手術を見学し、放射線検査室では、歯科用コンピュータに触れる機会を得た。

そのほか総合診療科や心療歯科センターで診療補助



附属病院で説明を聞く新潟の学生たち

新潟病院では、在宅歯科往診チームを中心に実習が行われた。学生はワゴン車に同乗し、老人ホームや個人宅で歯科訪問診療現場を見学、帰院後は積極的なディスカッションが繰り返された。

また、総合診療科、病棟、各センター、そして

実習から戻った両学部の学生からは、「三日間の参考になることが多い。今回の交換実習に参加したのは、少人数の学生だったが、初めて両学部部が、合同で臨床実習を行ったことは大きな第一歩であると感じている。今年度は、今回のトライアルで明確となった問題に対応し、実習内容の充実



東京の5年生は、これから在宅往診へ

東日本国際大学長に 田久昌次郎先生

本学第七十回卒業の田久昌次郎(たきゅう・しょうじろう)先生が、福島県いわき市の東日本国際大学の学長に四月一日付で就任した。同大学を運営する学校法人昌平理事長を三月で退任し、いわき短期大学学長も兼務する。

内田名譽教授の叙勲

本学名誉教授の内田稔先生は、平成二十四年春の叙勲で瑞宝小綬章を受章した。内田名譽教授は、昭和三十六年本学卒業(第五十回卒)。



国際学会で最優秀口演賞 東京・麻酔の安田助教

生命歯学部歯科麻酔学講座の安田麻子助教は、二月二十九日、三月二日にアメリカ・ハワイ州で開催された第十三回国際歯科麻酔学会議(International Federation of Anesthesiologists Society)で、最優秀口演賞を受賞した。

受賞演題は「Effect of Dexmedetomidine hydrochloride injection on blood flow rate in rat upper limb」。鎮静薬のデクスメドミジンは、リドカインの血管拡張作用を抑制することなどを報告した。

東京短大、学術誌を創刊

東京短期大学(小口春術、歯科技工、口腔保健)久学長では、このほど『日本歯科大学東京短期大学雑誌』(略称「日歯大東短誌」)を創刊した。

歯科衛生士ならびに歯科技工士の養成機関における学術誌(紀要)の刊行は、わが国初となる。同誌は「歯科医療技術」の研究成果を収録した。



日本歯科大学東京短期大学雑誌
Journal of The Nippon Dental University College at Tokyo

日本歯科大学 *OPEN CAMPUS 開催中!* 生命歯学部・新潟生命歯学部

生命歯学部



日程：7/8, 8/16, 8/25,
10/14, 11/3, 11/4

新潟生命歯学部



日程：7/14, 8/18, 9/16, 11/17

オープンキャンパス開催の詳細は
大学HPでご確認ください

※お問い合わせ先

日本歯科大学 生命歯学部 入試課 TEL：03(3261)8319
日本歯科大学 新潟生命歯学部 入試課 TEL：025(267)1500

平成25年度A○入学試験・推薦入学試験（平成24年実施）

試験区分	A ○ 入 学 試 験		推 薦 入 学 前 期 試 験		編 入 学 前 期 入 学 試 験	
学 部	新 潟 生 命 歯 学 部		生 命 歯 学 部 (東 京)	新 潟 生 命 歯 学 部	生 命 歯 学 部 (東 京)	
募集人員	約 15 名		約10名 (指定校制・公募制)	約20名 (指定校制)	若干名	若干名
出願期間	郵送・窓口とも：24年8月20日(月)～8月30日(木)		郵送・窓口とも： 24年10月24日(水)～11月1日(木)	郵送：24年10月29日(月)～11月7日(水) 窓口：24年11月6日(火)・11月7日(水)	郵送・窓口とも： 24年10月24日(水)～11月1日(木)必着	郵送・窓口とも： 24年10月22日(月)～10月30日(火)必着
出願場所 ・試験場	日本歯科大学新潟生命歯学部 〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500		日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311	日本歯科大学新潟生命歯学部 〒951-8580新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500	日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311	
試験科目等	出願資格 (オープンキャンパス参加が必須、昨年度参加可) ・目標を定めその実現のために積極的に行動することのできる、目標意識と意欲のある者 ・医療人にふさわしい高い倫理観や適性を持った者 ・合格した場合に入学を確約できる者 ・その他、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者等・・・ 選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 面接試験(グループ・個人) 3) 実技評価 4) 資格取得状況、文化・芸術・スポーツの分野やボランティア活動なども評価		出願資格(公募制) 1) 平成24年3月卒業生並びに平成25年3月卒業見込みの者で人物・健康ともに優れ学校長が推薦する者 2) 合格した場合に入学を確約できる者 選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 英語小テスト 3) 面接試験	出願資格(指定校制) 1) 平成25年3月卒業見込みの者で、人物・健康ともに優れ学校長が推薦する者 2) 3年1学期までで、評定平均値3.5以上または数学・理科・外国語の3教科の評定平均値3.4以上の者 3) 合格した場合に入学を確約できる者 選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 英語小テスト 3) 面接試験	出願資格 1) 大学卒業生、または平成25年3月卒業見込みの者 2) 大学に2年以上在学して、所定の単位を取得した者 3) 短期大学または高等専門学校の既卒者 選抜方法 1) 出身大学、在学大学、出身短期大学または出身高等専門学校の成績証明書 2) 英語小テスト 3) 小論文 4) 面接試験	
試 験 日	平成24年9月2日(日)		英語小テスト、面接試験とも 平成24年11月3日(土)	英語小テスト、面接試験とも 平成24年11月11日(日)	平成24年11月3日(土)	平成24年11月2日(金)
合格発表	平成24年9月4日(火)に本人に合否通知を速達郵便で発送する。		平成24年11月5日(月)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する。	平成24年11月13日(火)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する。	平成24年11月5日(月)に本人に合否通知を速達郵便で発送する。	平成24年11月6日(火)に本人に合否通知を速達郵便で発送する。
手続期限	平成24年9月14日(金)		平成24年11月16日(金)	平成24年11月22日(木)	平成24年11月12日(月)	平成24年11月16日(金)